

令和 6 年度 京都市美術館協議会 議案書

- P1 京都市美術館（京都市京セラ美術館）概要
- P5 令和5年度事業報告
- P39 令和6年度事業計画

令和 6 年 1 0 月 1 0 日



京都市美術館
(京都市京セラ美術館)
概 要

施設概要

名称	面積(m ²)
北回廊 1階 展示室	840.72
北回廊 2階 展示室	983.19
南回廊 1階 展示室	878.14
南回廊 2階 展示室	1,000.05
東山キューブ展示室	950.27
ザ・トライアングル	89.61

名称	面積(m ²)
別館 第1展示室	416.78
別館 第2展示室	499.85
光の広間（北中庭）	445.89
天の中庭（南中庭）	445.89
収蔵諸室	1,555.21
講演室	179.49

名称	面積(m ²)
中央ホール	588.79
カフェ	251.21
ショップ	137.83
京セラスクエア	2,964.37
東山キューブテラス	616.91
日本庭園	3,411.79

■ 開館時間

10時～18時（展示室への入場は17時30分まで）

■ 休館日

月曜日（祝日の場合は開館）／年末年始（12月28日～1月2日）

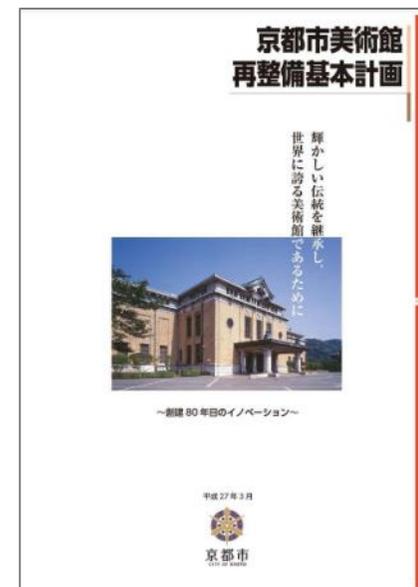
■ 観覧料：コレクションルーム（常設展）

一般	京都市内在住の方	520円
	市外在住の方	730円
	団体（20名以上）	620円
小中高生等	京都市内在住又は通学の方	無料
	市外在住の方	300円
	団体（20名以上）	200円
小学生未満		無料



「京都市美術館再整備基本計画」（平成27年3月策定）

- ・ 貴重な文化的財産を保存継承し、多様な美術作品の鑑賞機会を提供するとともに、次世代の若手作家や市民の創造的活動を支援する**複合型美術館**を目指す。
- ・ 芸術系大学や学校の美術教育との連携、市民協働の推進により、すべての人に開かれた生涯学習の場となる**社会教育施設**を目指す。
- ・ 岡崎地域のポテンシャルを生かし、文化・観光振興のための多彩なプロモーションを可能とする**国際文化観光都市・京都の発信拠点**を目指す。



＜総務課＞ 事務職員…16人（部長1、課長2、係長3、係員4、会計年度任用職員6）

＜学芸課＞ 学芸員…6人（係長1、係員3、会計年度任用職員2）

＜主な外部委託の状況＞

業務名	業務内容	委託先
事業企画推進業務	事業企画業務（展覧会企画・誘致等、学芸員6名在籍）、企画推進業務（展示デザイン、広報PR、スペースレンタル営業などの支援）	（株）長谷ビル
運営サービス業務	来館者及び利用者への総合サービス、総合案内・クローク業務、チケットカウンター、改札、看視業務	サントリーパブリシティサービス（株）
施設マネジメント業務	展示・イベント・施設利用に係る管理及び運営支援業務	（株）ブランコ
清掃業務	本館及び別館の清掃業務	日本管財（株）
建築設備保守管理業務	本館及び別館の建築設備保守管理業務	日本管財（株）
警備業務	本館及び別館の警備業務（24時間常駐）	セコム（株）

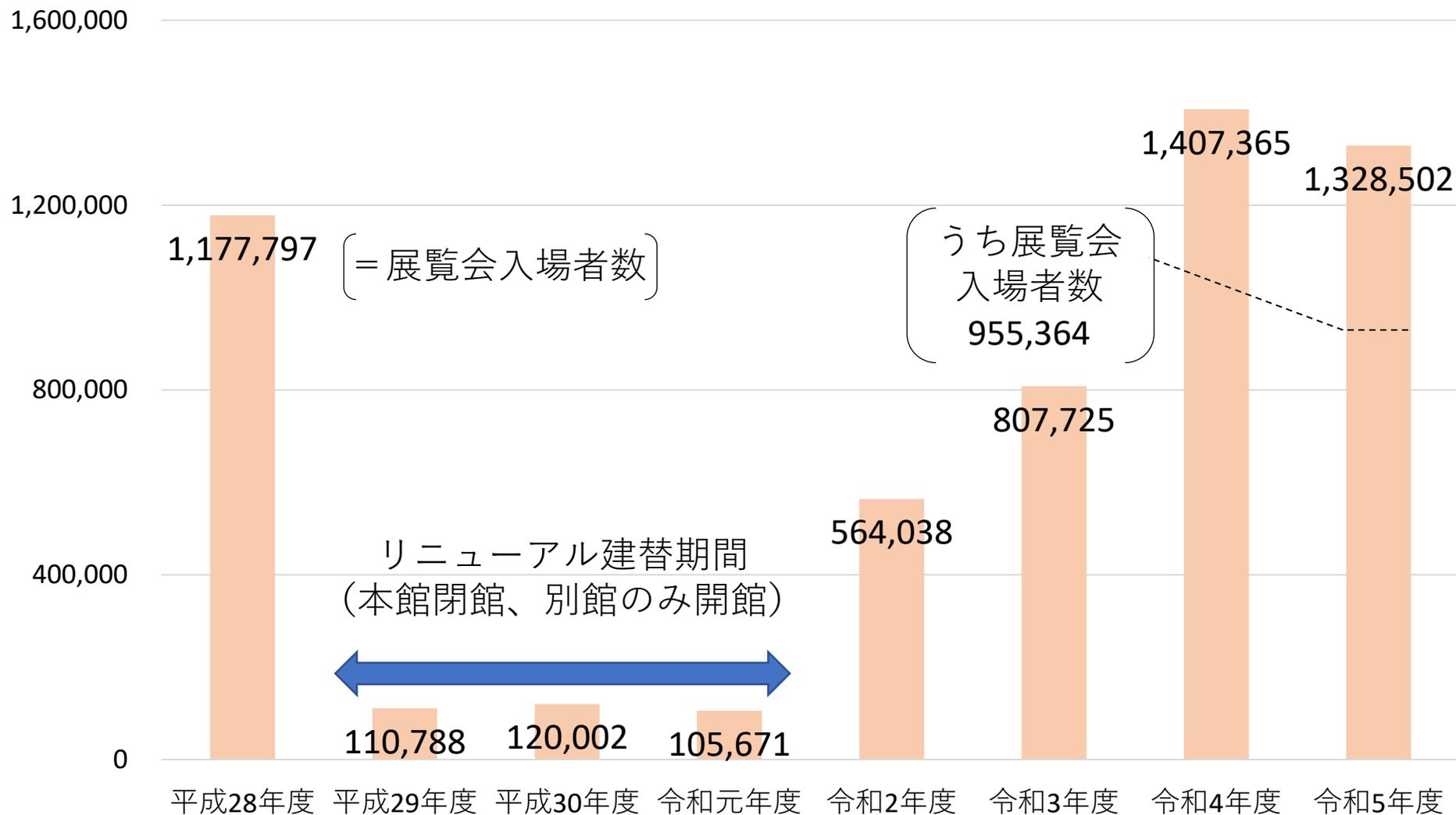
■平成27年3月「京都市美術館再整備基本計画」

美術館運営の基盤をなす学芸部門は直営体制を基本とし、広報や資金調達など、民間の人材、ノウハウが活かせる部門については民間活力の導入も視野に、京都市として責任ある体制を堅持しつつ、さらに魅力を高める運営の在り方を検討する。

令和 5 年度事業報告

入館者数の推移（平成28年度～令和5年度）

入館者数の推移（人）



主催展一覧

近現代日本画、現代美術、工芸など多様な作品の鑑賞機会を提供。

展覧会名	共催	会期	日数	会場	入場者数実数(人) (1日あたり)
特別展 跳躍するつくり手たち：人と自然の未来を見つめる アート、デザイン、テクノロジー	京都市、京都新聞、日本経済新聞社	R5.3.9～R5.6.4	76	新館東山キューブ	26,707 (351人/日) ※R4: 7,050 R5:19,657
京都市美術館開館90周年記念展 竹内栖鳳 破壊と創生のエネルギー	京都市、京都新聞、ライブエグザム、BSフジ、日本経済新聞社	R5.10.7～R5.12.3	51	南回廊1F	34,620 (679人/日)
第10回日展京都展	京都市、京都新聞	R5.12.23～R6.1.20	21	北回廊1F2F、南回廊2F、光の広間	23,291 (1,109人/日)
京都市美術館開館90周年記念展 村上隆 もののけ 京都	京都市、朝日新聞社、京都新聞、NHK京都放送局、NHKエンタープライズ近畿	R6.2.3～R6.9.1	187	新館東山キューブ	459,559 (2,458人/日) ※R5:133,517 R6:326,042
合 計					544,177 ※R4: 7,050 R5:211,085 R6:326,042

跳躍するつくり手たち

人間や地球の歴史を意識しながら、柔軟な発想でめざましい活動を展開する日本のアート、デザイン分野の気鋭の20作家（個人・チーム）による展覧会。

世界が直面する激動の時代に求められる「創造へ向かう跳躍するエネルギー」が鮮やかに浮かび上がった。



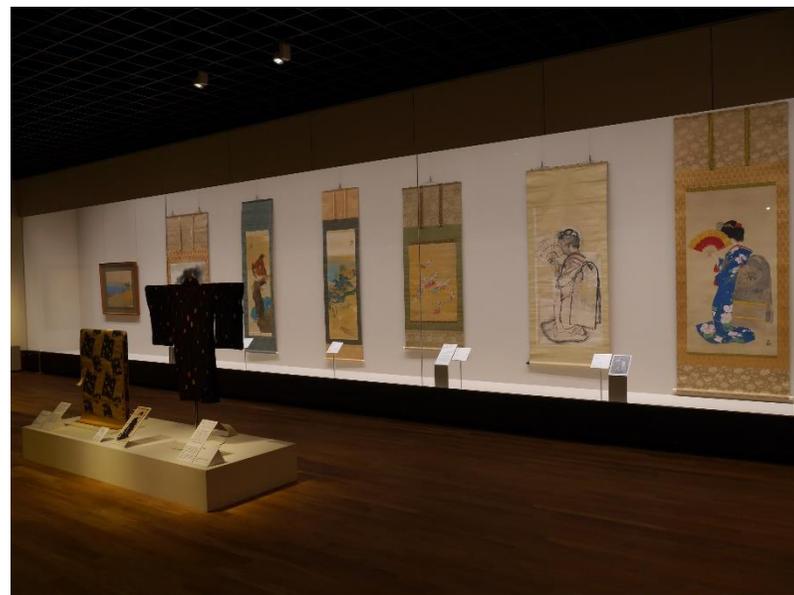
Photo: Koroda Takeru

竹内栖鳳 破壊と創生のエネルギー

竹内栖鳳は、「写生」を重要視しながら、抜群の筆力で生き生きとした作品を生み出し、圧倒的な求心力で画壇をリードして、近代京都日本画の礎を作った画家。

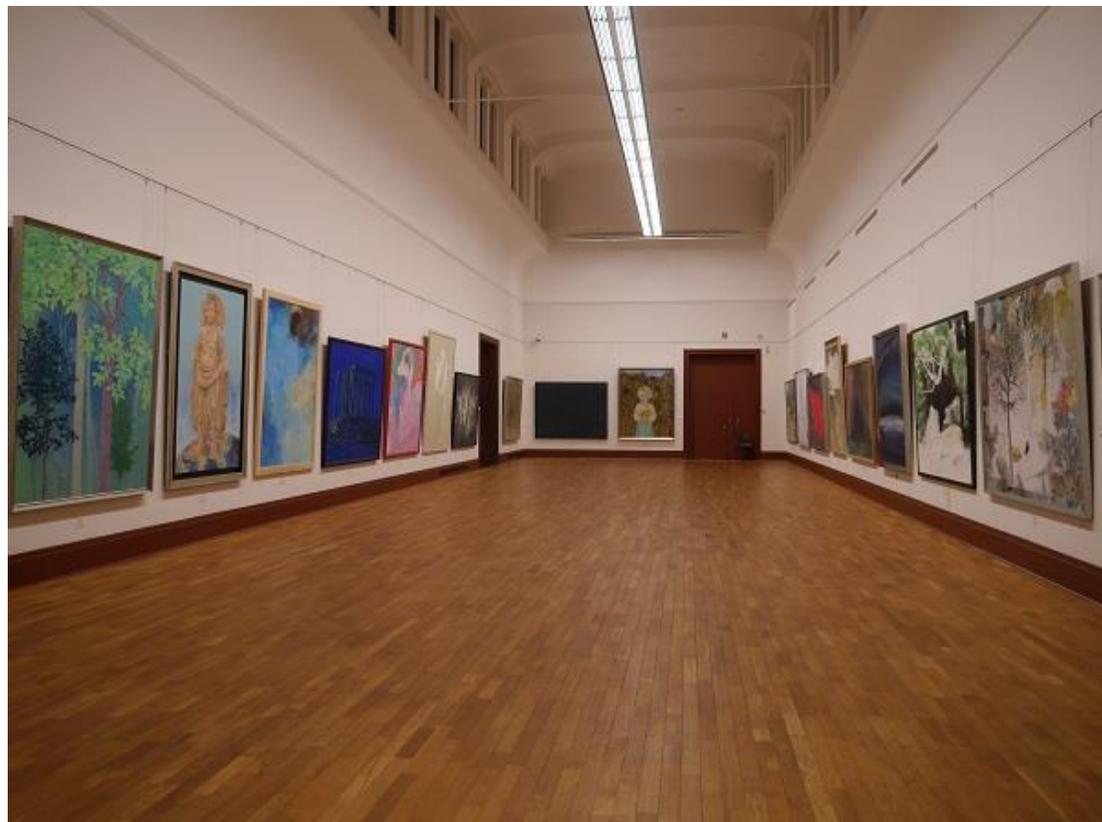
本展では、当館所蔵の重要文化財《絵になる最初》をはじめ、若手時代から円熟期まで、栖鳳の代表作を集めて展示。

本画に加え、制作にまつわる写生や下絵、古画の模写など、様々な資料も合わせて紹介した。



第10回日展京都展

明治40年に開設された文部省美術展覧会を前身とする全国規模の公募展の京都巡回展。日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の5部門にわたって、全国巡回の基本作品と、京都・滋賀の地元作品の計464点を出品。



日本画部門の展示風景

現代美術の最前線で活躍する村上隆の大規模な個展。

村上が活動初期から深い関心を寄せてきた江戸時代の絵師たちが活躍し、今なお、あらゆる芸能と芸術が息づき交わり合うここ京都を舞台に、新たに描きおろした超大作をはじめ、代表的なシリーズ、国内初公開となる作品などを展示。



Photo: Joshua White
©2024 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

ザ・トライアングル

北西の角の地下1階に、京都ゆかりの作家を中心に新進作家を育み、当館を訪れる方々が気軽に現代美術に触れる場を提供。

■ 八幡亜樹「ベシュバルマクと呼ばないで//2022」
(令和5年2月14日(火)～令和5年5月28日(日))

■ 米村優人「BAROM (あるいは幾つかの長い話)」
(令和5年6月20日(木)～令和5年9月24日(日))

■ 山本雄教「仮想の換金 (priceless museum)」
(令和5年10月13日(金)～令和6年2月12日(月))

■ 嶋春香「仮縫いと野良仕事」
(令和6年3月5日(火)～令和6年6月23日(日))

八幡亜樹
「ベシュバルマクと呼ばないで//2022」



撮影：三吉史高

米村優人
「BAROM (あるいは幾つかの長い話)」



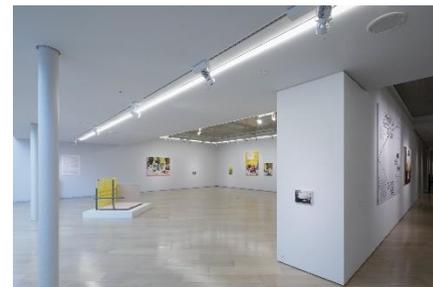
撮影：岡はるか

山本雄教
「仮想の換金 (priceless museum)」



撮影：守屋友樹

嶋春香
「仮縫いと野良仕事」



撮影：来田猛

コレクションルーム（常設展）

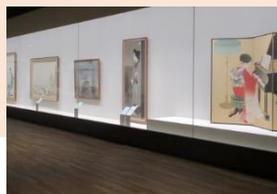
四季に合わせた年4回の展示替えにより所蔵品を展示する「コレクションルーム」。京都市美術館の所蔵品を年間通じて鑑賞できる環境を整備。

展覧会名	会期	日数	会場	入場者数実績（人） （1日あたり）
春期	R5.3.10～R5.6.18	87	南回廊 1F	22,235 (256人/日) ※R4: 5,277 R5:16,958
夏期	R5.6.23～R5.9.24	82	南回廊 1F	23,610 (288人/日)
秋期	R5.10.27～R5.12.17	45	北回廊 1F	13,445 (299人/日)
冬期	R5.12.22～R6.2.25	54	南回廊 1F	16,438 (304人/日)
合 計				75,728 ※R4: 5,277 R5:70,451

コレクションルーム（常設展） — 展示構成

春 期 特集：魅惑の昭和モダン

- 106 春の名品
- 110 特集展示：新時代を彩る人々
- 108 特集展示：私たちは「モガ」
- 南広間 特集展示：工芸のモダニズム 金工と陶磁
- 109 特集展示：工芸のモダニズム 漆
- 107 VOCA展 30周年によせて
- 106 進化する工芸



110号室

秋 期 特集：Tardiologyへの道程

- 105a 秋の名品：初秋から初冬まで
- 101 山に遊ぶ
- 101・102 京都市動物園開園120周年記念展示：
動物にクギツケ～日本画家のアツいまなざし
- 103・104・105b 特集：Tardiologyへの道程

夏 期 特集：人間国宝 稲垣稔次郎—遊び心に触れて—

- 106 特集：日常にあるもの
- 110 特集：技術力と遊び心
- 109 上村松園—初期から最晩年まで—
- 南広間 活気あふれる自然
- 108 夏の女性像
- 107 夏をとらえる
- 106 漫画的表現のいま・むかし



106号室

冬 期 特集：昭和前期の日本画と古典

- 106、110 特集：昭和前期の日本画と古典
- 109 清らかな筆 案本一洋の世界
- 南広間 茶碗の愉しみ：近代の共作を中心に
- 108 「女」の前衛：坪井明日香の陶芸
- 107・106 雪月花—風雅な眺め—

(*数字は部屋番号)

共催展

魅力的な海外展をはじめ、多彩なジャンルの展覧会を開催。

展覧会名	主催者	会期	日数	会場	入場者数実績（人） （1日あたり）
生誕100年 回顧展 石本 正	朝日新聞社、京都新聞、 京都市	R5.4.4～R5.5.28	48	北回廊2F	13,510 (281人/日)
マリー・ローランサンとモード	関西テレビ放送、産経 新聞社、京都新聞、京 都市	R5.4.16～R5.6.11	49	北回廊1F	31,806 (649人/日)
ルーヴル美術館展 愛を描く	ルーヴル美術館、読売 テレビ、読売新聞社、 キョードー、京都市	R5.6.27～R5.9.24	79	北回廊1F、 新館東山 キューブ	288,610 (3,653人/日)
井田幸昌展 Panta Rhei パン タ・レイー世界が存在する限り	京都新聞、京都市	R5.9.30～R5.12.3	57	南回廊2F	18,560 (326人/日)
MUCA展 ICONS of Urban Art ～バンクシーからカウズまで～	ICONS of Urban Art 制作委員会、京都市	R5.10.20～R6.1.8	65	新館東山 キューブ	76,796 (1,181人/日)
パリ ポンピドゥーセンター キュビズム展—美の革命 ピカソ、ブラックからドロー ナー、シャガールへ	ポンピドゥーセンター、 日本経済新聞社、テレ ビ大阪、京都新聞、京 都市	R6.3.20～R6.7.7	97	北回廊1F、 南回廊1F	67,942 (700人/日) ※R5: 7,624 R6:60,318
合 計					497,224 ※R5:436,906 R6: 60,318

多様なジャンルの美術団体等に発表の場を提供することにより、次世代の若手作家や、市民の創作活動を支援。

年度	貸館件数	入場者数（人）	使用料収入（千円）
令和2年度	68	103,019	19,318
令和3年度	115	173,450	37,513
令和4年度	127	209,106	39,747
令和5年度	135	236,922	41,025

※令和2年度については、新型コロナウイルス感染症に伴うキャンセルが相次いだ。

京都市美術館美術品収集方針

(平成30年11月14日決定)

日本文化の創造と継承の中心地である京都における近代以降の美術※1を展望できる総合的なコレクション※2を、世界的な視野に立って形成するために必要な作家の作品及び資料を計画的に継続して収集する。

1. 近代以降の美術において重要な位置を占める作家の作品及び資料を収集する。
2. 現代の美術において新たな展開を見せる作家の作品及び資料を収集する。
3. 近代以降の美術に有意義な関連のある国内及び海外の作家の作品及び資料を収集する。
4. 主要な作家については、作風の変遷を見ることができるよう、各時期の作品を収集する。
5. 上記の作品及び資料について、長期的な計画に従って毎年継続して収集する。

※1 明治以降から現在までの美術を意味するが、近代の美術の形成に影響を与えた江戸期の美術まで遡及するものとする。

※2 既存の部門（日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書）だけでなく、新たな分野（写真、映像など）の作品も対象とする。

■ 収集点数：購入 3点
寄贈 133点

■ 購入作品：購入金額 6,550千円)

- ・ 竹内栖鳳《羅馬遺跡図》
- ・ 望月玉川《富士巻狩図》
- ・ (初代) 宮永東山《灰釉蛾文花瓶》

■ 主な寄贈作品

- 黒田アキ《COSMOGARDEN》他
- 蜷川実花《Ray of light for the future ahead》
- 林 康夫《No Sound D》他
- 庄田鶴友《金地松図》他
- 国府 理《電動三輪自動車》他



竹内栖鳳《羅馬遺跡図》



望月玉川《富士巻狩図》



(初代) 宮永東山
《灰釉蛾文花瓶》



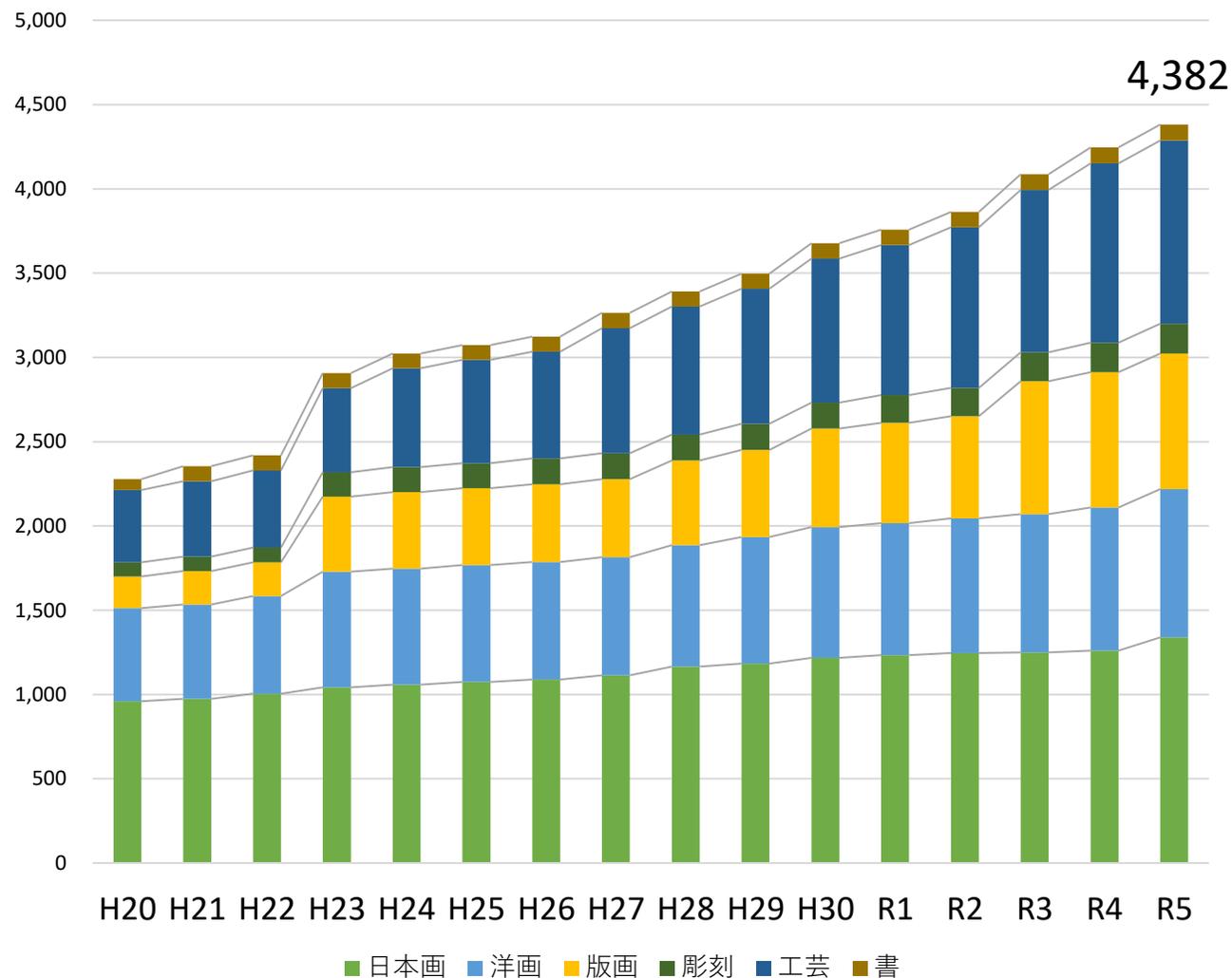
国府 理《電動三輪自動車》

美術品の収集

■ 令和5年度 取得内訳
 ※ () 内は所蔵作品数

日本画	79点 (計 1,339点)
洋画	30点 (計 879点)
版画	1点 (計 805点)
彫刻	2点 (計 177点)
工芸	24点 (計 1,088点)
書	0点 (計 94点)
合計	136点 (計 4,382点)

収蔵品の推移



■ 作品貸出 令和5年度：24件 69点

(主な貸出先)

- ・ 京都国立近代美術館、岐阜県美術館 他：
「走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代」
－八木一夫《作品52「休息の眼」》他 計4点
- ・ 碧南市藤井達吉現代美術館、大分市美術館 他：
「須田国太郎の芸術—三つのまなざし—」
－須田国太郎《早春》他 計11点
- ・ 大阪中之島美術館、大分県立美術館 他：
「没後50年 福田平八郎」
－福田平八郎《青柿》他 計4点

■ デジタルアーカイブ

デジタル化したデータは、雑誌、書籍への掲載や作品貸出の際の活用に加え、美術館ウェブサイトの「当館の名品」コーナーで公開



須田国太郎《早春》

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
日本画	1,289	1291	1305
洋 画	826	837	864
版 画	543	578	616
彫 刻	155	158	165
工 芸	790	804	902
書	78	81	82

デジタル化作品数（点）

■美術館ニュースの発行（年2回）

221号：

- ・後藤結美子「竹内栖鳳の画室〈霞中庵〉を訪れて～『京都市美術館開館90周年記念展 竹内栖鳳 破壊と創生のエネルギー』に寄せて」
- ・新装版「作家にきく」no. 6 河口龍夫（聞き手：京都市美術館学芸課） 等

220号：

- ・高橋信也「京都市美術館開館90周年記念展『村上隆 もののけ京都』なぜ今、京都で〈村上隆〉なのか。」
- ・新装版「作家にきく」no. 7 福嶋敬恭（聞き手：京都市美術館学芸課ほか） 等

■研究紀要（年1回発行）

第3号

○論文

- ・後藤結美子「〈京七宝〉とは何か—明治期の製造工程にみるその特性」

○所蔵品紹介

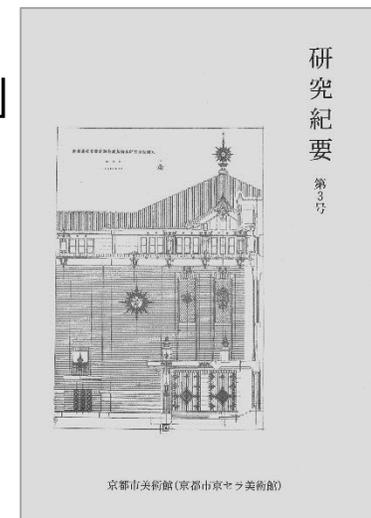
- ・影山侑恵「THE ZERO COLLECTIONにおける近代西洋版画コレクションについて」

○資料紹介

- ・中谷至宏「京都アンデパンダン展資料」

○新装版「作家にきく」vol.2（前半）中井貞次

（聞き手・編集：ひろのぶこ、後藤結美子、中山摩衣子）



■ 図録執筆

『竹内栖鳳 破壊と創生のエネルギー』

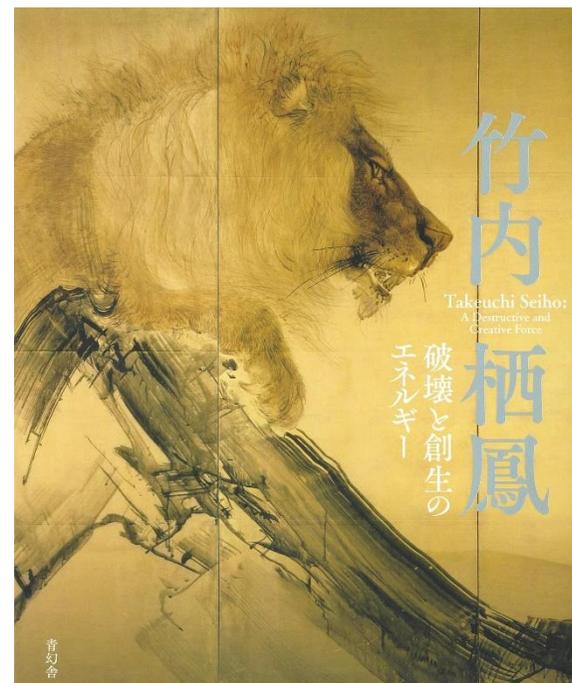
- ・ 論文
平野重光「竹内栖鳳の芸術」
廣田孝「《ベニスの月》と高島屋」
森光彦「栖鳳と日本画界」
後藤結美子「栖鳳と写生帖—着想の原点」
- ・ コラム、章解説、作品解説執筆：
森光彦、後藤結美子、大森奈津子、影山侑恵

『キュビズム展 美の革命』

- ・ 論文
中山摩衣子「1950年代、アンドレ・ロートと日本—キュビズムをめぐる試論」

『村上隆 もののけ 京都』

- ・ 論文
三木あき子「試論：村上隆のスーパーフラットな人生（2024年版）」
橋本麻里「絵空事としての京都」



■ CONNECT与での取組

本館2階談話室にて、「視覚に障害のある方との対話型美術鑑賞」の映像展示、手話と文字による館内案内動画の上映を行った。



■ ラーニングツールの作成

名画との縁結びシートや配信動画等のラーニングツール（計5種）を作成し、館内での配布やHPでの公開、またワークショップ等で活用した。

■ ぽよよんタイム、ぽよよんDAYSの実施

談話室や展示室を活用し、子どもも大人も学び合える企画を行った。左京区役所と連携して行った、ぽよよんDAYS「京都市京セラ美術館で展覧会を作ってみよう！」では、45名の小学生がサポートスタッフの学生らと自分達の展覧会を作り、会場は多くの来場者で賑わった。美術館の楽しみ方を考えたり、美術館で学び合える機会を創出した。

（計9回。延べ583名が参加）

■ 京都芸術教育コンソーシアム（Art-e Kyoto）への参画

■ ギャラリートークの実施

展覧会名	回数	延べ参加者数
生誕100年 回顧展 石本 正	3	86
跳躍するつくり手たち	3	84
竹内栖鳳 破壊と創生のエネルギー	2	51
井田幸昌展	2	170
第10回日展京都展	22	1,050
村上隆 もののけ 京都	4	37
コレクションルーム	4	78

その他、メンバーシップ会員向けにギャラリートークを開催



■ アーティストトークの実施

展覧会名	回数	延べ参加者数
ザ・トライアングル 米村優人	1	26
ザ・トライアングル 山本雄教	1	11
村上隆 もののけ 京都	1	145

教育普及（ラーニング）

■ 講演会等の実施

展覧会名：内容等	回数	延べ参加者数
生誕100年 回顧展 石本 正：記念講演会	3	97
マリー・ローランサンとモード：講演会「狂騒の時代とローランサン」、「1920年代モダンガールとパリモード」	2	約60
跳躍するつくり手たち：京都新聞ニュースカフェ特別企画「アート、デザイン、テクノロジーの現在と未来：6人のつくり手たちと語る」	1	66
コレクションルーム：モダン・ガールズ・コレクションワークショップ、美術館×動物園 動物画さんぽ	3	50
ザ・トライアングル 米村優人：米村優人とみんなの長い話	1	96
ルーヴル美術館展：開催記念講演会「西洋絵画に見る愛の諸相」、「描かれた愛の裏側」	2	137
竹内栖鳳 破壊と創生のエネルギー：講演会「栖鳳の芸術について」、「竹内栖鳳、京都画壇にあらわる」、クロストーク「わたしたちの好きな栖鳳」	3	212
井田幸昌展：スペシャルトークショー	2	195
ザ・トライアングル 山本雄教：トークイベント「仮想の収蔵」	1	12
第10回日展京都展：宮田亮平理事長 京滋作家と大いに語る、視覚障害者のための「手で触れる日展」	2	150
ぽよよんDAYS「妄想鑑賞レッスン」と「ラーニングツール体験会」	1	170
左京区民親子ふれあいセミナー×ぽよよんDAYS 京都市京セラ美術館で展覧会を作ってみよう！	1	280
談話室「ぽよよんタイム」	6	133

■ Instagram、Facebookへの記事掲載

年間通じてほぼ毎日、InstagramやFacebookに展覧会やイベント等に関する記事を掲載。

	R2	R3	R4	R5
Instagram（フォロワー数）	21,867	30,578	42,451	58,607
Facebook（「いいね」数）	10,235	13,213	16,656	17,489
YouTube（登録者数）	866	1,600	1,917	2,479

■ クリップ数（令和5年度）

掲載件数（日本語）

全体	新聞	Web	雑誌	TV・ラジオ
6,820件	1,156件	5,463件	154件	46件

掲載件数（多言語）

全体	新聞	Web	雑誌	TV・ラジオ
43件	-	30件	13件	-

* 共催展関連は当館で確認できたもののみ集計。
多言語も掲載連絡があったもののみ集計。

■公式YouTubeチャンネル

展覧会やラーニング等に関する動画コンテンツを作成し、公式YouTubeチャンネルで公開。令和5年度は京都市美術館開館90周年を記念して、学芸員による所蔵作品の解説動画を多数制作し公開。



動画名

ザ・トライアングル「八幡亜樹：ベシュバルマクと呼ばないで//2022」 The Triangle Yahata Aki: Don't Call it Beshbarmak, 2022

ザ・トライアングル「米村優人：BAROM（あるいは幾つかの長い話）」 The Triangle Yonemura Yuto: BAROM and/or several long stories

京都市美術館開館90周年記念展「竹内栖鳳 破壊と創生のエネルギー」 関連インタビュー：竹内栖鳳の魅力語る1 株式会社岡墨光堂

京都市美術館開館90周年記念展「竹内栖鳳 破壊と創生のエネルギー」 関連インタビュー：竹内栖鳳の魅力語る2 竹内浩一氏（日本画家）

京都市美術館リニューアル事業記録映像

京都市京セラ美術館ラーニング・プログラム 対話型鑑賞「まなざしを分かち合う」

ザ・トライアングル「山本雄教：仮想の換金 (priceless museum)」 Yamamoto Yukyo: Hypo-Exchange in the Priceless Museum

CELEBRATING 90TH 京都市美術館90周年記念祭 第1部 基調講演「京都市美術館の90年」

CELEBRATING 90TH 京都市美術館90周年記念祭 第2部 記念対談「美術館の過去・現在・未来」

[キュレーターズトーク] 学芸員による所蔵作品の解説動画 計36本

■コレクションルーム音声ガイドの多言語化

コレクションルームで展示している作品を紹介する音声ガイドを、4か国語（日・英・中・韓）で作成している。（累計180作品）

■キャッシュレス対応

- ・ クレジットカード、電子マネー、QRコード決済による観覧料や音声ガイド利用料（コレクションルームのみ）のキャッシュレス化
- ・ 主催・共催展覧会のオンラインチケット販売を実施
 - ※ 入場者多数の展覧会は日時指定チケットにより混雑緩和
 - ※ チケット販売のほか、事前に観覧券をお持ちの方による観覧日時予約も実施

※ チケット購入画面



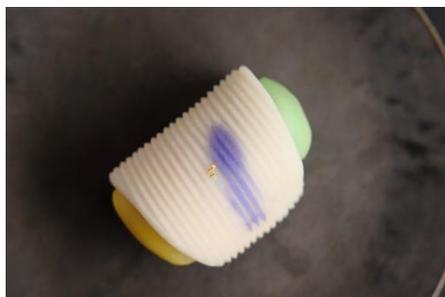
アメニティ施設（カフェ・ショップ等）

エンフューズ ミュージアムカフェ「ENFUSE」

営業時間：10時30分～19時（定休日：休館日に準ずる）
利用者数：約88,000人（令和5年度）

<令和5年度の主な取組>

■ 展覧会にあわせた期間限定メニューの提供（以下は一例）



2023年冬期コレクションルーム
コラボ和菓子
案本一洋 《鶴》



2023年夏期コレクションルーム
コラボ和菓子
稲垣稔次郎 《二匹の虎》



竹内栖鳳 破壊と創生のエネルギー
コラボパフェ



京都市美術館90周年記念祭
屋外フードブースの企画、運営

■ ENFUSEでのLIVEイベント「inter-section」第2弾を開催



2021年に元jizueのドラマー粉川心の呼びかけで、岡田康孝や高橋賢一ら同世代の即興音楽家3人が結成。彼らの音楽は美しい異世界から狂気の混沌まで幅広く、多様なダンスミュージックの要素も取り入れ、聴衆を非現実の世界へと誘います。美術館で「音楽と出会う場」だけではなく、耳や空間で楽しめる新たな試みをカフェで実施。「inter-section」には交錯するという意味があり、色々な人々が行き交い混じり生まれる音楽のアートを目指したライブイベントをコンセプトとしています。

アメニティ施設（カフェ・ショップ等）

ミュージアムショップ「ART RECTANGLE KYOTO」 アート レクタンブル キョウト

営業時間：10時30分～18時30分（定休日：休館日に準ずる）

利用者数：約64,000人（令和5年度）



<令和5年度の主な取組>

- 展覧会にあわせた関連商品の販売（以下は一例）



跳躍するつくり手たち展、竹内栖鳳展 etc .
関連商品の販売

- 京都市京セラ美術館オリジナルグッズの販売

<グッズの一例>

トートバッグ、マグネット、マグカップ、
ブックマーカー、ポストカード etc.



■ 京都ミュージアムズ・フォー

参加館：京都国立博物館、京都国立近代美術館、
京都文化博物館、京都市京セラ美術館

4館スケジュールパンフレットの作成や連携講座、スタンプラリー、
4館友の会相互割引の実施

■ 3館相互割引

参加館：京都国立近代美術館、細見美術館、
京都市京セラ美術館

観覧者や友の会会員に対する相互割引の実施

■ 京都伝統産業ミュージアムとの相互割引 入場券の提示でコレクションルーム団体料金適用

■ 京博連（京都市博物館施設連絡協議会） 第27回京都ミュージアムロードへの参加



メンバーシップ

令和5年度はリニューアル後、新たにバスツアーを開催。メンバー同士の交流を図った。

〈個人会員〉

区 分	令和4年度	令和5年度
フレンド	1,610	1,712
フレンドU25	75	93
サポーターフェロー	47	62
e-フレンド	2,406	2,865
合 計	4,138	4,732

〈法人会員〉

区 分	令和4年度	令和5年度
プラチナ (5,000,000円/年)	2	2
ゴールド (3,000,000円/年)	0	0
シルバー (1,000,000円/年)	6	6
ブロンズ (100,000円/口/年)	21	20
合 計	29	28

■活動

- ・ Members Newsの発行 (年4回)
- ・ 美術館支援事業 (作品修復等)
- ・ 開館90周年記念事業

■実施イベント

- ・ 展覧会に係るギャラリートーク
- ・ コレクションルーム早朝観覧
- ・ 法人メンバー限定イベント

等



MICE利用

令和4年度から利用可能となった中央ホールに加え、光の広間や東エントランスロビーをレセプション等のユニークベニューとして積極的に活用した。



■ 主なMICE利用実績

内容	期間（設営撤去期間含む）
藤井理紗ソプラノリサイタル	R5.6.12
井田幸昌展レセプションパーティー	R5.9.28~R5.9.29
ラルフローレン受注販売会	R5.10.3~R5.10.9
KYOTO EXPERIMENT 2023 ルース・チャイルズ公演	R5.10.12~R5.10.15
ハイブランド受注販売会	R5.10.16~R5.10.23
Art Collaboration Kyoto Opening Reception	R5.10.27
関西・歴史文化首都フォーラム	R5.11.27
電子音楽演奏	R5.12.16,23
ウェディングパーティー	R6.2.26

CELEBRATING 90TH 京都市美術館90周年記念祭

1933年11月に「大礼記念京都美術館」として開館した当館は、2023年11月に開館90周年を迎えた。

これを記念し、11月11日（土）～12日（日）に、講演、食、音楽、ライトアップ、建築、展覧会など、様々な形で美術館を楽しんでいただくためのスペシャルイベントを開催。

メインビジュアル



オープニングセレモニー



市長、メンバーシップ
会長らで鏡開き

先着100名へ
ふるまい酒を
提供



基調講演・記念対談



<第1部> 基調講演「京都市美術館の90年」
青木淳（京都市京セラ美術館館長）

<第2部> 記念対談「美術館の過去・現在・未来」
妹島和世（東京都庭園美術館館長、ミラノ工科大学教授）
青木淳

鷺田めるろ ※ファシリテーター

（十和田市現代美術館館長、東京藝術大学准教授）



100人以上の傍聴者が参加

特別展示「京都市美術館 90年の歩み」



建築コンペや建築過程など美術館設立に至る経緯を貴重な資料とともに紹介

1 食と音楽と光を楽しむ

Food Marche (フードマルシェ)



旧正面玄関を特別に開放して
フードマルシェを営業

推計約2万人が利用

チンドン・バンド「ジンタラムータ」



チンドン楽団
「ジンタラムータ」
が90周年の祝祭を演出

特別ライトアップ



光のアーティスト・高橋匡太
による特別ライトアップ

2 建築を楽しむ

再発見！美術館たてものツアー



京都産業大学の学生
によるガイドツアー

50人以上が参加

※ 画像はイメージ

モダン建築に泊まろう



THE NORTH FACEの
テントでお泊り体験

10組32人が参加

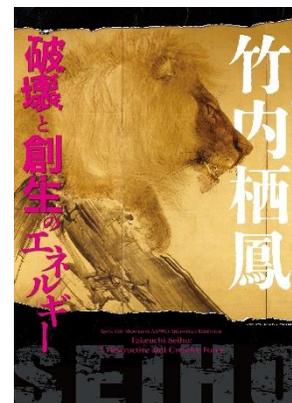
3 展覧会を楽しむ

コレクションルーム秋期 無料開放



4,300人以上が
来場

夜間まで開館延長（～20時）



- 竹内栖鳳 破壊と創生のエネルギー
- コレクションルーム秋期
- ザ・トライアングル山本雄教
- 井田幸昌展
- MUCA展
- 第50回記念創画展

令和5年度決算概要

令和5年度決算は、予算と比較して、歳入が、展覧会収入等の減少により約8,900万円の減額となった一方、歳出は、運営経費の節減や執行抑制等により約1億400万円の減額となり、一般財源（市税等）の負担は予算比約1,500万円の減額の約3億2500万円となった。

(単位：百万円)

項目	令和5年度 予算	令和5年度 決算	差引	決算のうち主なもの
歳入	693	604	△89	コレクション展34、美術館使用料292、展覧会配当収入等154、寄附金30 など
歳出	1,033	929	△104	展覧会企画・施設運営等719、コレクション展22、展覧会負担金等159、館内維持修繕1 など
一般財源 (税負担額)	340	325	△15	

令和 6 年度事業計画

<再整備基本計画：魅力的な展覧会の開催>

- ・ 「京都画壇」を多角的に紹介し、京都の美の系譜を重層的に理解できる常設展を開催
- ・ 世界が注目する多様な芸術表現を取り上げた現代美術等の企画展を開催
- ・ 美術・工芸の系譜に連なる伝統産業製品に着目し、地場産業の振興、技術の普及継承につながる展覧会を開催

展覧会名	共催	会期	日数	会場	入場者数実績(人) (1日あたり)
京都市美術館開館90周年記念展 村上隆 もののけ 京都	京都市、朝日新聞社、 京都新聞、NHK京都 放送局、NHKエン タープライズ近畿	R6.2.3~R6.9.1	187	新館東山 キューブ	459,559 (2,458人/日) ※ R5:133,517 R6:326,042
金曜ロードショーとジブリ展	京都市、読売テレビ	R6.4.12~R6.6.29	70	北回廊2F	212,790 (3,040人/日)
グッチ日本上陸60周年記念展 GUCCI COSMOS	京都市、グッチ	R6.10.1~R6.12.1	56	北回廊1F、 新館東山 キューブ	—
京都市立芸術大学移転記念 特別展 巨匠たちの学び舎 日本画の名作はこうして生まれた	京都市、毎日新聞社、 京都新聞	R6.10.11~R6.12.22	65	南回廊2F	—
第11回日展京都展	京都市、京都新聞	R6.12.21~R7.1.18	21	北回廊1F2F、 南回廊2F、 光の広間	—
蜷川実花（仮称）	京都市ほか	R7.1.11~R7.3.30	70	新館東山 キューブ	—
合 計					—

<再整備基本計画：魅力的な展示会の開催、次世代の育成>

- ・世界が注目する多様な芸術表現を取り上げた現代美術等の企画展を開催
- ・若手作家や市民の創作活動を支援

■川田知志「築土構木」

(令和6年7月16日(火)～令和6年10月6日(日))

■MIKADO2「ワニのためのフーガ」

(令和6年10月19日(土)～令和6年12月22日(日))

■坂本森海「タイトル未定」

(令和7年1月11日(土)～令和7年3月16日(日))

■迎英里子「タイトル未定」

(令和7年3月29日(土)～令和7年6月1日(日))

川田知志「築土構木」



撮影：来田猛

MIKADO2「ワニのためのフーガ」



坂本森海

《粘土で作って、焼いて、食って、焼く》2022年



撮影：大澤一太

迎英里子

《アプローチ 13.0》2022年



撮影：松見拓也

<再整備基本計画：魅力的な展覧会の開催>

- ・「京都画壇」を多角的に紹介し、京都の美の系譜を重層的に理解できる常設展を開催

展覧会名	会期	日数	会場	入場者数実績（人） （1日あたり）
夏期 特集「女性が描く女性たち」	R6.7.19～R6.9.27	64	南回廊1F	20,366 (318人/日)
冬期 特集「世界が見惚れた京都のやき もの～明治の神業」	R7.1.10～R7.2.24	41	南回廊1F	—
合 計				—

<再整備基本計画：魅力的な展覧会の開催>

・魅力的な海外展の誘致、特色ある美術館とのパートナーシップによる多彩で国際的な文化芸術交流を推進

展覧会名	主催者	会期	日数	会場	入場者数実績（人） （1日あたり）
パリ ポンピドゥーセンター キュビズム展—美の革命 ピカソ、ブラックからドロー ナー、シャガールへ	ポンピドゥーセンター、 日本経済新聞社、テレ ビ大阪、京都新聞、京 都市	R6.3.20～R6.7.7	97	北回廊1F、 南回廊1F	67,942 (700人/日) ※ R5: 7,624 R6:60,318
KYOTOGRAPHIE 京都国際写 真祭 2024	一般社団法人 KYOTOGRAPHIE	R6.4.13～R6.5.12	28	南回廊2F	24,668 (881人/日)
奥村厚一 光の風景画家 展	ライブエグザム、BSフ ジ、BS11、京都新聞、 京都市	R6.7.19～R6.9.8	46	北回廊1F	13,659 (297人/日)
モネ 睡蓮のとき	マルモッタン・モネ美 術館、読売テレビ、読 売新聞社、キョードー エンタテインメント、 京都市	R7.3.7～R7.6.8	82	北回廊1F、 南回廊2F	—
合 計					—

＜再整備基本計画：調査研究の充実＞

・京都在活動する作家や美術関係者の自主研究会等とも連携し、調査研究のネットワーク拡大と知見の向上を図る。

■美術館ニュースの発行

京都市京セラ美術館ニュース223号

- ・森光彦「巨匠たちの学び舎 日本画の名作はこうして生まれた」展覧会のご案内」
- ・野崎昌弘「特別展「蜷川実花(仮称)」開催に向けて」
- ・新装版「作家にきく」no.8 山本之夫（聞き手：京都市美術館学芸課ほか） 等

■研究紀要の作成

■図録執筆

『奥村厚一 光の風景画家』

- ・論文
後藤結美子「奥村厚一 光の風景画家」
- ・章解説、作品解説執筆：
後藤結美子、影山侑恵、一柳由樹

『巨匠たちの学び舎 日本画の名作はこうして生まれた』

- ・論文
森光彦「日本画家と近代教育施設」
福田里和「福田平八郎の学生生活」
陳鶯「非常時の共同制作－1943年における京都市絵画専門学校の画標制作をめぐる－」
- ・コラム、章解説、作品解説執筆：
森光彦、福田里和、陳鶯

『モネ 睡蓮のとき』

(当館では令和7年3月7日～6月8日開催)

- ・年譜
中山摩衣子（共作）

教育普及（ラーニング）

<再整備基本計画：教育普及の充実>

- ・芸術系大学や高校と連携し、ワークショップルーム等で独自の先駆的教育を体験できる場を提供
- ・子どもや先生を対象に常設展の鑑賞講座や、ワークショップ、作家の創作過程の公開等の体験型プログラムを提供する。

展覧会名・内容等	回数	延べ参加者数
「村上隆 もののけ 京都」：ギャラリートーク	10	85
「村上隆 もののけ 京都」：講演会等（村上隆作品を通して学ぼう！『京都』と『もののけ』、「村上隆 もののけ 京都」をめぐる一カタログ寄稿者3人が語る一、21世紀の奇想の系譜、京の都と陰陽道一『村上隆 もののけ 京都』の背後にあるもの、「村上隆 もののけ 京都」のファンドレイジングをめぐる）	5	325
ザ・トライアングル「嶋春香」：アーティストトーク	2	27
キュビズム展：国際シンポジウム「キュビズム、美の革命—その生成と拡張」	1	282 (うちオンライン参加 217)
コレクションルーム夏期：ギャラリートーク	2	47
ザ・トライアングル「川田知志」：アーティストトーク	1	11
ぽよよんタイム	5	119
ぽよよんDAY「ラーニングツール体験会×夏の美術館で自由研究」	1	56



<再整備基本計画：賑わい創出、MICE戦略の推進>

- ・光の広間や庭園等を国際会議のレセプション等のユニークベニューとして積極的に活用

昨年度に続き、中央ホール、光の広間や東エントランスロビーをレセプション等のユニークベニューとして積極的に活用する。

内容	期間（設営撤去期間含む）
シンクビー！展示受注会	R6.4.13~R6.4.14
Mogami jewelry展示受注会	R6.4.20~R6.4.21
祇園祭 橋弁慶山前懸お披露目	R6.5.22~R6.5.24
garadinner	R6.5.29
nori enomoto pop up store	R6.8.9~R6.8.12
INAMORI ミュージック・デイ2024 ミニコンサート	R6.8.10
INTO THE BRIGHT KYOTO	R6.8.28
GUCCI COSMOSレセプション	R6.9.30

ナイトミュージアムKANSAI@京都市京セラ美術館

美術館・博物館相互の連携やネットワーク形成により、夜の時間帯における新たな価値創出や文化と経済の好循環の実現を図るため、8月の毎週金曜・土曜日（8/24(土)を除く）は20時まで夜間開館を実施。全9日間で7,200人以上が来館。

金曜日：仕事終わりにアートを嗜む



ビジネスパーソン向け
アート講座

全2回（8/2,30）で
計130人以上が参加



副館長と気軽に
展覧会の感想を
語り合う場を設置

全5回で
計110人以上が参加

土曜日：子どもも大人ものびのび楽しむ



作品の魅力を
発見し表現する
ワークショップ

全3回（8/10,17,31）で
計200人が参加

全日（金曜・土曜日）



光のアーティスト
高橋匡太氏による
特別なライトアップ

そのほか、声出しOKの展覧会鑑賞（土曜日）、ザ・トライアングル「川田知志」ガイドツアー（8/9）、INAMORIミュージック・デイ2024（8/10）、カフェ・ショップの営業時間の延長を実施

※ 京都市京セラ美術館のほか、京都文化博物館、滋賀県立美術館でも実施（実施内容・時期は館ごとに異なる）

令和6年度予算概要

令和6年度予算は、歳入が、展覧会収入の増加等により前年度比で2億3,000万円の増額となった一方、歳出は、運営経費の見直しや展覧会経費等の減少があるものの、充実した展覧会への負担金により前年度比で1億4,800万円の増額となり、一般財源（市税等）の負担は令和5年度から8,200万円減の2億5,800万円となった。

（単位：百万円）

項目	令和5年度 当初予算	令和6年度 当初予算	差引	予算のうち主なもの
歳入	693	923	230	コレクション展15、美術館使用料409、国補助金5、寄附金100、展覧会配当収入等175 など
歳出	1,033	1,181	148	展覧会企画・施設運営等740、コレクション展37、展覧会負担金等357 など
一般財源 (税負担額)	340	258	△82	

御意見を頂戴したい主な論点について

- 1 コレクションルームの認知度向上・入場者増加策について
- 2 新たな美術・美術館ファンの獲得や賑わいづくりの取組について